

特集

平成28年度「特産品と明治維新  
150周年」特別記念講演

日本が

世界地図から

消滅しない

ための

戦略

講師 東京大学名誉教授

月尾 嘉男 氏

平成28年10月7日(金) 鹿児島サンロイヤルホテル

Strategy to prevent Japan from disappearing from the world map



平成30年に「明治維新150周年」の節目を迎えます。当協会では、当時の歴史や生活などを参照し、今後、本県特産品が進むべき方向性を探る契機とする研修会等を、本年度より3年間にわたって開催いたします。

平成28年度「特産品と明治維新150周年」特別記念講演では、東京大学名誉教授の月尾嘉男氏を講師に招き、「日本が世界地図から消滅しないための戦略」について、お話しいただきました。講演会の要旨をご報告いたします。

「危機的状態にある現在の日本」

150年前、薩摩や長州の方々の活躍で新しい日本が誕生しました。しかし、現在の日本は危機的な状態にあります。

作者不明ですが、2050年の東アジアを中国が支配するという地図があります。それによると、朝鮮半島は統一され、日本は鹿児島を含む南半分が、東海省となり、北半分はチベットやウイグルなどと同じ「自治区」扱いになります。

実際には起こり得ないと思いがちですが、歴史を調べると、このような国家の消滅は数多くあります。第二次世界大戦後の1945年から現在まで、地球上から183の国が消えたという調査報告があります。日本は世界最長の歴史をもつ国家ですが、消滅しない保証はないのです。

「経済だけで発展した国はもろい」

過去に消滅した2つの大国を紹介します。貿易を得意とした商業国家「カルタゴ」(紀元前814-146年)は、最盛期には北アフリカ、イベリア半島の南側、コルシカ島とサルデーニャ島、シチリア半島の西半分を支配するほどの勢力を誇っていました。

しかし、ローマと3回の「ポエニ(カルタゴ)戦争」を戦い、初回と2回目の敗戦では莫大な賠償金を支払いましたが、それでも復興しました。その繁栄を脅威に感じたローマは3回目の戦争で完全に消滅させました。

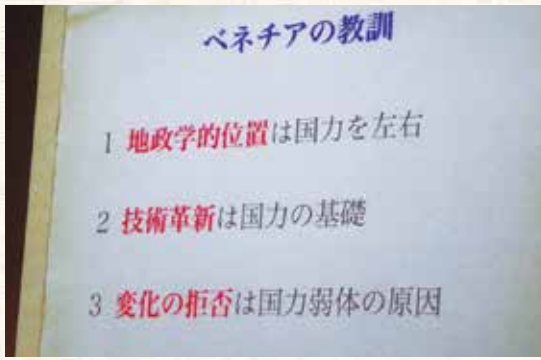
重要な3つの敗因があります。カルタゴの海軍は自国民で構成していましたが、陸軍は周辺の先住民族を雇っていたため、忠誠心に欠けていました。カルタゴは商業国家で、政治や文化に無関心だったと言われています。そしてローマの政治家がカルタゴを滅亡させることを国民に執拗に宣

伝していたことも影響しました。現在の日本の状況に類似しています。

### 「地政学的優位が 消滅する危機」

「ベネチア共和国」(679-1797年)は小さな島国でしたが、アジアとヨーロッパの中継拠点として栄え、地中海世界最強の国になりました。

15世紀に対抗勢力として登場したのが「ポルトガル」です。海洋王国を目指して船乗りを養成し、新型帆船を開発し、海路で東洋へ到達するア



フリカ航路を発見し、スペインと世界を二分するほどの大国になりました。その結果、ベネチアの艦隊は時代遅れになるとともに、貿易拠点の地位を失い、18世紀末にナポレオンに屈服して消滅しました。

日本は戦後、共産主義国家と資本主義国家の最前線という地政学的に重要な位置にあり発展しましたが、航空機や兵器の発達により、その優位がなくなり、技術開発でも最先端の地位を後退させています。

### 「見失ってはいけない 特異点」

カルタゴもベネチアも社会の構造が巨大な転換をする特異点に気付くことが遅れたのです。現在の日本の技術先進国の地位低下が一例です。NTTは1990年に通信革命の長期構想を発表しましたが、アメリカが対抗してインターネットを無償公開したときに対応が遅れ、インターネット時代に出遅れてし

まいりました。

アメリカは用意周到に準備を進めてきた国家です。日本が日清・日露戦争に勝利した直後から、日本と太平洋の覇権を争う事態を想定し、それに備えて、ハワイ、グアム、フィリピンを支配下に治め、パナマ運河を建設して大西洋から太平洋に海軍の中心を移動させ、日本を敗戦に追い込みました。

このアメリカの戦略を真似しているのが現在の中国です。太平洋西半分の制海権を確保するため、南沙諸島を実効支配し、世界に海軍を派遣するため、中米のニカラグア運河やマレー半島のクラ地峡運河を建設し、中華人民共和国建国100周年となる2049年を目標に着々と準備を進めています。

### 「これからの日本が やるべきこと」

21世紀は「武力や財力ではなく文化や情報が国力の源泉になる」と考えられており、

人、物、金、情報を引きつける魅力が国力の基礎になります。

日本は「経済大国」ではなく「文化大国」を目指すべきです。自然景観、伝統行事、郷土料理など、日本には魅力ある多様な文化が各地にあります。その背景には自然を崇拜してきた日本独自の精神文化があります。その精神が日本の自然と文化を維持してきたのです。

西郷隆盛がモデルとされる映画『ラストサムライ』は「日本はひと握りの勇者によって創られたといわれる。彼らが命をかけて守ったものは、現在では忘れられつつある「名誉」である」という言葉で始まります。残念ながら、現在の日本人はその精神を失っています。

日本は素晴らしい文化を維持してきた国家です。150年前、薩摩の人々が近代日本を創り上げた精神を想い出し、消滅しない日本を維持していただきたいと思えます。

東京大学名誉教授

## 月尾 嘉男 氏

1942年愛知県生まれ。1965年東京大学工学部卒業。1971年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。1978年工学博士。名古屋大学工学部教授、東京大学工学部教授、総務省総務審議官などを歴任し、2003年より現職。専門はメディア政策。全国各地で地域の人々と環境保護を目指す活動も主宰。MBCラジオ番組『日本全国8時です』に毎週木曜日午前8時から出演中。

